



目次	
●会長あいさつ	1
●副会長あいさつ	2
●本部役員紹介	3～4
●専門部活動紹介	5
●郡市教頭会ネットワーク	6
●新入会員の声	7
●随想	8



夢や希望に向かい、他者ととともに自ら未来を切り拓く 子どもを育む学校づくりを目指して

新潟県小中学校教頭会

会長 山下 信孝

(新潟市立大野小学校)

5月の県小中学校教頭会理事会において選出され、代議員会において承認いただき、今年度会長を務めさせていただくことになりました。会員の皆様方からのご支援をいただき、関係諸団体との連携を図りながら、新潟県小中学校教頭会のサブテーマである「夢や希望に向かい、他者ととともに自ら未来を切り拓く子どもを育む学校づくり」を推進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

現任校の新潟市立大野小学校ですが、昨年度150周年を迎えました。周年事業を迎えるにあたり大きな問題がありました。昨年度4月初めの段階で、原因不明の病気により飼育していた鯉が一気に亡くなってしまいました。そのため大野小のシンボルである丸池に生き物が1種類もない状態となりました。何とか丸池を復活させようと6年生が総合的な学習の時間を使って、丸池再生プロジェクトを立ち上げました。丸池で生育する生き物の見直し、丸池の周りの環境の改善（植え込みの撤去、新しい植物の選定・植栽、夜でも楽しめるようライトアップの計画）など子供たちが主体となり様々な活動が展開されました。今では、子供たちの多くが癒しを求め集まる、大野小自慢の丸池に生まれ変わりました。6年生が、よりよい丸池を創り上げたいという夢に向かい、多様な大人たちの手を借りながら友達とプ

ロジェクトを組み、自慢の丸池を創り上げることを実現したのです。私が教頭として行ったのは、鯉などの生き物や植物、丸池の清掃などの専門業者との間を取り持ち道筋を作る、子供たちが描いた丸池に少しでも近づけるように多角的な視点からアドバイスをするなど、教師や子供たちが主体的に学んでいけるようにしたことでした。この一連の活動を通して感じたことは、「主体的に自らが考え行動すること」の大切さです。「夢や希望に向かい、他者ととともに自ら未来を切り拓く子どもを育む学校づくり」を実現していくためには、私たち教頭はもとより教職員が自ら課題に取り組み、主体的に解決していく姿が求められます。多様な業務が山積する中、1人の教頭の責任の重さに圧倒されてしまいそうですが、皆様方が目標に向かい、よりよく業務を遂行できるのを支えるために教頭会があると思っています。互いの実践や意見交換から学びながら、ともに未来を切り拓く子どもを育む学校を作り上げることができるよう取り組んでいきましょう。





働き方改革のレバレッジ

副会長 浅山 景
(妙高市立斐太北小学校)

昨年度に引き続き、副会長職を拝命いたしました。教頭会事業へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

今般、働き方改革の一環として、学校行事や職員の業務内容の縮小・削減が進められていますが、人々の思いや期待をも縮小・削減してはいないでしょうか。

当校では、PTA主催の空き缶回収を行っています。PTAの負担感が大きいということで、事業を縮小することにしました。それに対して、地域住民から「学校のために協力してきたが、寂しさがある。」との声が寄せられました。

学校行事や業務は、理由があって継続されてきたはずですが、背景を理解し、思いや期待を共感した上で、縮小・削減を慎重に行う必要があることを、改めて思い知らされました。

今後も、働き方改革を不断に進めていく必要があります。時間と労力、負担感の視点のみで削減をするのではなく、どの業務に重点を置くことで、働き方改革を最大限に進めることができるのかという「働き方改革のレバレッジ」の視点が、求められていると考えます。



教頭の魅力を発信

副会長 舘岡 信也
(長岡市立阪之上小学校)

先日、東京で全国公立学校教頭会定期総会が開催されました。その講演で東京大学大学院教育学研究科教授・勝野正章様が、「教頭を『魅力あふれる職』とするにはどうすればよいのか検討し、提言すべきである。」と述べられました。令和5年度全国公立学校教頭会の調査で、教頭のやりがいで、「職員の育成」と「職場の人間関係（教職員の相談に応えることも含む）」が上位であることが分かりました。

様々な対応が求められる中で、職員同士の風通し

をよくし、職員一人一人が自分らしさを大切にしたい学級経営や授業づくりに没頭できる職場環境をつくるのが教頭の職務の醍醐味の一つと考えます。

今年度の私の目標は、県教頭会会員同士の横のつながりによる情報収集・共有に「発信」を加え、魅力ある職場環境づくりを進めつつ、教頭の職の魅力を積極的に伝え、教頭になりたいと思う職員を育成することです。そして、この取組は、教員の魅力を若い人たちに発信することにもなると信じています。

会員の皆様との交流を通じて、相互に学び合いながら、提言機能を強化し、明るく元気で爽やかな教頭会を目指して、全力を尽くす所存です。どうぞよろしく願いいたします。



誰もが輝くために

副会長 坪川 淳助
(新潟市立月潟中学校)

当校では、生徒会活動で生徒同士の称賛活動を始めました。総務委員会が呼びかけた作業や行事の準備に参加した生徒の行動を“シャイニー”と呼び、朝会等で紹介するというものです。今年度最初は入学式準備の活動でした。総務委員会は、新入生の教室整備を、ボランティアで行いたいと呼びかけ、10人以上が集まりました。入学式後の全校集会で、生徒会長は集まったボランティアの生徒を紹介し、全校で“シャイニー”を称えました。小さなことでも、見えにくいことでも、光を当てたいという生徒の取組に、うれしくなりました。

さて、新潟県小中学校教頭会会則の第2条には、「この会は、会員の資質を高めるための研修を推進し新潟県教育の振興に寄与すると共に会員相互の福祉増進を図ることを目的とする」とあります。「研修」は当然重要ですが、「福祉」も大切です。私たち教頭も、毎日元気であってこそ、しあわせを実感できてこそ、誰もが輝く学校になるのだと思っています。私たちの業務の中にある課題を明らかにし、改善につなげていきます。そして、校種を越え、地域を越えて、よりよい取組から学んでいきたいと思っています。一年間よろしく願いいたします。

令和6年度

本部役員紹介



幹事長 **霧巻 義和**
(新潟市立小須戸小学校)

教師になった時、社会人として表情が変わった。教務主任になった時、仕事への視野が変わった。管理職になった時、教頭として覚悟が変わった。今年度、幹事長をさせていただき身が引き締まる思いでいっぱいですが、それでも笑顔を忘れず楽しく責務を全うしたい、これが今の私の覚悟です。



中越地区庶務幹事 **涌井 基之**
(長岡市立四郎丸小学校)

中越地区は「長岡市三島郡」「三条市」「小千谷市」「加茂市・南蒲原郡」「見附市」「魚沼市」「南魚沼郡」「燕市西蒲原郡」の9つの教頭会で組織されています。会員数は、242名となっています。第15回ブロック別研究大会を、十日町市・中魚沼郡小・中学校教頭会の主管で開催します。会員の皆様と力を合わせて取り組みます。



会計幹事 **吉田 研**
(新潟市立上山小学校)

教頭になってから、保護者・地域の方々そして教職員と繋がる重要性を再認識させられ、その良好な関係を築いていく難しさを日々感じております。そしてこの度、教頭会の会員の皆様を繋ぐ幹事に拝命され、微力ではありますが頑張っております。よろしくお願いいたします。



下越地区庶務幹事 **永井 昌樹**
(新潟市立両川中学校)

現在、学校現場における課題が多様化・複雑化するとともに、解決困難な課題が増えています。県教頭会が様々な課題を共有できて、会員がお互いに励まし合い、課題解決に向かうような、助けとなる会になればと思います。本年度より庶務幹事として、よろしくお願いいたします。



上越地区庶務幹事 **亀山 亨**
(上越市立大町小学校)

現任校の重点目標は「共につくる」です。様々な対象や仲間とかかわり合いながら、一人一人が学びを深めています。教頭会も、全会員のかかわり合いによって、「共に」前進することを願っています。昨年度に引き続き役員を仰せつかりました。県教頭会が、より充実するよう皆様のご協力を得ながら努めて参ります。よろしくお願いいたします。



下越地区庶務幹事 **杉山 順二**
(阿賀町立三川小学校)

今年度から、下越地区Bの庶務幹事を仰せつかりました阿賀町立三川小学校の杉山順二です。新任教頭として、初めての職務、初めての東蒲原郡、校舎の外には猿、鹿、電話が鳴れば熊の出没情報と、初めてだらけの日々を過ごしています。庶務幹事として、皆様の活動が円滑に遂行できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

会計監査

田口 秀行	上越市立柿崎中学校	室橋 辰宏	新潟市立鎧郷小学校
堀 和広	長岡市立川崎小学校		

理事

金子 謙太郎	妙高市立新井中央小学校	山崎 正義	糸魚川市立南能生小学校
金田 裕介	燕市立粟生津小学校	若井 義弘	十日町市立十日町小学校
徳富 大吾	新発田市立川東小学校	土屋 勝願	佐渡市立両津小学校
渡邊 洋臣	上越市立直江津東中学校	力間 博隆	柏崎市立第三中学校
渡辺 元子	長岡市立宮内中学校	山下 晃司	見附市立見附中学校
前田 敏之	新潟市立下山中学校	中山 久司	村上市立神林中学校

事務局

横田 誠	脇屋 雅実
------	-------

代議員

上越	米岡 洋	上越市立稲田小学校
	大森 己智子	上越市立牧中学校
柏崎・刈羽	桑原 浩史	柏崎市立柏崎小学校
糸魚川	澤田 隆	糸魚川市立青海小学校
妙高	長澤 虎幸	妙高市立新井小学校
長岡・三島	渡辺 登	長岡市立表町小学校
	高橋 雅和	長岡市立千手小学校
三条	金子 純一	三条市立月岡小学校
小千谷	加藤 美奈子	小千谷市立小千谷小学校
加茂・南蒲	佐藤 禎英知	加茂市立加茂小学校
十日町・中魚	若井 義弘	十日町市立十日町小学校
見附	山下 晃司	見附市立見附中学校
魚沼	金澤 健志	魚沼市立堀之内小学校
南魚沼	富士野 幸子	南魚沼市立六日町小学校
燕・西蒲	林 部雄一	燕市立燕東小学校
新潟小	高橋 新一	新潟市立木崎小学校
	山田 純一	新潟市立黒崎南小学校
新潟中	倉島 陽介	新潟市立光晴中学校
	長谷川 淳	新潟市立関屋中学校
新発田・北蒲	臼井 政之	新発田市立住吉小学校
村上・岩船	川上 直樹	村上市立平林小学校
五泉・東蒲	山口 伸也	五泉市立五泉小学校
阿賀野	鈴木 智博	阿賀野市立水原小学校
佐渡小	土屋 勝願	佐渡市立両津小学校
佐渡中	椿 昌宏	佐渡市立金井中学校
胎内	網代 鋼一	胎内市立中条小学校



専門部活動紹介



アンケート調査にご協力を

調査要請部長 **八子 正彦**
(新潟市立巻南小学校)

今年度も「教頭の勤務実態調査」と「新潟県義務教育の振興に関する要望書作成のための調査」を行います。これらは、新潟県教育の進展に寄与するとともに、教頭の福利厚生・待遇改善を図るために行うものです。

令和5年度の報告を見ると、ポストコロナ時代における勤務実態が分かります。「7時以前に出勤する割合が年々増加している」「通勤距離20km以上が3割を超えている」。いずれも教頭の働き方改革が進んでいないことの表れです。今後、ますます深刻な状況になるのではと不安でなりません。

そんな状況を改善できるよう、厳しい勤務実態を関係機関に訴え、全国公立学校教頭会とも連携して、勤務条件の改善につなげていきたいと考えています。会員一人一人の声が大切になります。アンケート調査への皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



第60回新潟県小中学校教頭会研究大会の開催に向けて

研究部長 **金子 康太郎**
(新発田市立猿橋小学校)

今年度は、第13期全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」を受け、新潟県教頭会としてサブテーマ「夢や希望に向かい、他者とともに自ら未来を拓く子どもを育む学校づくり」の2年次研究に取り組んでいきます。

今年度の「第60回研究大会」は、昨年度の反省を踏まえ、多くの会員の皆様が参加しやすいように10月30日(水)開催としました。現在、上越市教頭会、妙高市教頭会、十日町市・中魚沼郡小中学校教頭会、佐渡市小中学校教頭会、村上市岩船郡小中学校教頭会が主管となり準備を進めています。

研究の3つの柱である「研究の継続性」、「組織研究としての協働性」、「学校運営における教頭の関与性」をさらに充実させ、各実践から学ぶことを通して、学校運営の力量を高めると共に、会員同士のつながりを深める機会にしたいと考えています。ご協力よろしくお願いいたします。



「仲間」を感じる会報に

広報部長 **間宮 智子**
(新潟市立濁川中学校)

広報部は、県教頭会の活動方針や活動状況を発信することによって、本会に対する理解と協力がいただけるよう尽力して参ります。また、郡市教頭会の取組や会員の皆様が考えていることを紹介し合うことで、会員相互のつながりを築くことに貢献していきたいです。皆様の活躍に思いを馳せる会報になればと考えています。

今年度の特集は「我が校の特色的な教育活動紹介」及び「我が校の働き方改革」としました。現在の教育課題に対してどのような取組がなされているのか、有意義な情報を提供できるよう努めていきます。

会報の発行に際して、会員の皆様からは、原稿執筆等にご協力いただくこととなります。各郡市教頭会長の皆様からは、執筆者の選定や原稿の執筆依頼をお願いします。いずれもご多用のところ大変恐縮ですが、よろしくお願いいたします。



教育課題部の活動

教育課題部長 **大塚 賢一**
(長岡市立東中学校)

教育課題部は、県の重点教育課題を的確に把握し、その解決に向けてどのように取り組むべきかをアンケート結果の分析を通して検討し、具体的な実践・対策の在り方を提案いたします。

「教頭」という役職にある人間が、その立場で感じていること、思っていること、考えていることを相互に確かめ合い、これを共有できる機会となっております。取りまとめたアンケート結果と分析はきっとお役に立つことと思います。ぜひ、ご覧いただきたいと思ひます。

一昨年度より、アンケートはGoogleフォームで実施し、昨年度はさらに質問項目やレイアウトを一段とシンプルにしました。今年度も会員の皆様が少しでも簡単に回答できるよう工夫いたします。部員一同、皆さんの素晴らしい取組の一つでも多く紹介するとともに、お役に立てる情報を提供できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

郡市教頭会ネットワーク



「おぢやっ子教育プラン」 具現化を目指して

小千谷市小中特別支援学校教頭会

猪股 幸

(小千谷市立千田中学校)

小千谷市小中特別支援学校教頭会は、小学校8校、中学校5校、総合支援学校1校の計14校、15名の会員で構成されています。当会は規模が大きくないため、互いの顔がよく見え、教頭同士が遠慮なく情報交換や情報共有を行い、日々の教育活動に役立てています。

教頭会は小中合同で、主な取組は春と冬に行われる2回の総会、年4回の研修会です。4回ある研修会では、タイムリーな研修テーマを設定し、各校の実態や状況、課題等の情報交換を行っています。昨年度は「働き方改革の取組」を1つのテーマとして、各学校の取組を紹介し合い、情報を共有することができました。また、教頭の資質・能力の向上を図るため、管理指導主事や市長から講話をしていただいています。昨年度は管理指導主事をお招きし、管理職としての責務や心構えについて講話をしていただきました。やりがいをもって学校運営に携わることの大切さや教頭の職務への認識を改めることができました。今年度は市長から講話をいただく予定です。

研修後には必ず情報交換を行っています。各学校における課題や悩み事を相談することで、同じ悩みに共感したり、助言を得たり、自校での業務改善に生かせるヒントを得る大切な場となっています。内容としては、PTA活動の精選、ICT機器の活用方法、校務支援システム(C4th)の利用状況など多岐に渡り、自校での業務改善にすぐに生かせる情報交換の場となっています。そのような場を通して、信頼関係を築き、研修以外の時でも、電話やメールを活用して、いつでも誰とでも気軽に連絡や相談ができる関係を構築しています。

今後も教頭同士の横のつながりを強化し、情報を共有しながら、日々の業務に邁進していきたいと思えます。そして、「自ら考え 心豊かに たくましく生きる 小千谷の子ども」の育成を目指し、教頭会でできることを実践していきたいです。



小規模を強みに 「一枚岩」の教頭会

胎内市小中学校教頭会

網代 鋼一

(胎内市立中条小学校)

胎内市小中学校教頭会は、「人が活きる、人が輝く、交流のまち“胎内”」で活動しています。小学校5校、中学校4校の計9校で組織されている小規模な教頭会です。毎月1回の定例会を設け、研修や情報交換等を行っています。

1 強い連帯感

昨年度は県小中学校教頭会研究大会において、コミュニティ・スクールを活用した児童生徒の自己有用感の向上に向けた取組を発表しました。市教育委員会指導主事の指導を仰ぎながら、発表者任せではなく、全員が課題を自分事として捉え、2年間にわたって計画的に研修を進め、実践を発表しました。小規模の教頭会のよさを生かした「一枚岩」の強さを発揮しました。

2 充実した研修

胎内市教育委員会教育長、教育委員会管理指導主事、胎内市校長会長を指導者に招き、ご指導をいただく貴重な研修を積み重ねています。教育長からは、胎内市が誇る歴史や自然、文化・産業等について、直接ご指導をいただくなど、ふるさと体験学習や総合的な学習の時間の活動の工夫に直結する有意義な研修となりました。

また、教頭会に合わせ、学校事務共同実施協議会と合同研修会を年2回行っています。日々の業務課題を洗い出し、課題解決策を共有しています。

3 会員相互の連携

会員相互の連携を大切にしています。校務支援システムを有効活用し、困ったことがあるときには互いに連絡を取り合い、解決していくネットワークのよさも当教頭会の強みです。小規模ながらも顔がよく見える利点を生かし、教頭同士が遠慮なく情報交換と情報共有を行い、業務推進に役立てています。

当教頭会は、これからも互いのよさを認め合い、支え合いながら研鑽を積み、温かい絆で深く結び付き、胎内市の教育の発展に尽力してまいります。



「新たな一歩」

糸魚川市立糸魚川中学校

江川 義法

講師時代も含めて教員人生初めての地元糸魚川勤務が、まさか教頭職で勤務することになるとは夢にも思っていませんでした。

赴任して数か月経ちましたが、地域や保護者の方々に昔懐かしい知り合いが多くいて、歓迎や励ましの言葉をたくさんいただきました。初めての教頭職に不安を抱えていた私にとって、それらの言葉に勇気ももらいました。また、校長先生をはじめ教職員の皆さんにも支えられ、今まで以上に「ありがとう」という感謝の言葉を言う機会が増えました。

糸魚川中学校は、自然の豊かさ、広々とした校舎、そして近隣には多くのスポーツ・文化施設があり、教育活動には恵まれた環境です。この素晴らしい環境の中で、子どもたちの笑顔や成長のため、教職員のやりがいや健康を守るため、そして地元糸魚川への恩返しの気持ちを込めて、教頭としての新たな一歩を着実に進んでいきたいです。



「ささえあい高めあう」

新潟市立万代長嶺小学校

鈴木 貴之

当校の学校目標は「ささえあい高めあう」です。子どもたちは振り返りや全校発表、卒業アルバムでこの素敵な言葉をよく使います。つまりこの言葉が全校の子どもにとって目標であり、評価となっているのです。

先日、教職員評価シートを全職員分確認しました。今までは自分と管理職しか見る事のなかったシートには、職員一人一人の思いや願いがあふれていました。ある若手職員は学校ビジョンを学級で達成しようという強い熱意が、ある中堅職員は学校の中心として職務に当たりたいという決意が、ある職員はワークライフバランスが取れた働き方を目指した願いが。

教職員自身も子どもたちや同僚をささえ、高めようとしています。私も負けていられません。子ども、職員、家庭、地域を笑顔にするために…



先輩が教えてくれた言葉

長岡市立中之島中学校

前田 尊昭

4月1日、新天地に着任。その日から、全く違う世界観が変わった。「教頭先生」と呼ばれる自分に違和感を感じながら、今ここで何を判断すべきかを考えることが多くなった。迷っている暇もなくやってくる相談を、どれだけスピーディに、かつ親身になって聞いていたかを振り返る毎日である。

振り返りながら、その判断が正しかったのか迷うことがある。そのときは2つの言葉を思い返す。

「子どもを一番に思うこと。」

「自分の職責を全うする覚悟をもつこと。」

先輩に教えていただいた言葉をど真ん中に置いて考えるようにしている。

教頭としての覚悟と自分なりの考えをもって、校長先生への報告と相談をするようにしている。

始まったばかりの教頭人生。2つの言葉を胸に、これからもブレずに職務にあたりたい。



生徒、職員、 地域のために

新潟市立川東中学校

八木 克洋

「子どもをかわいがり、職員を大事にする。」着任にあたり、尊敬する先輩からいただいた言葉です。教頭の心構えとして胸に刻んで勤務しています。

新潟市立川東中学校は二王子岳の麓、加治川を望む田園地帯に位置する自然豊かな学校です。「教育村川東」としての伝統が今なお脈々と地域に息づき、物心両面にわたり学校に対して協力を惜しまず、あたたかく支えてくれています。この風土が、生徒が周囲の大人に対してとても人なつっこく、絶大な信頼を寄せる安心感につながっているのだと、感動の毎日です。教頭として、冒頭の金言に「地域と学校をさらにつなぐ。」この言葉を付け加えられるよう、日々精進していきます。生徒を真ん中に据え、職員、保護者、地域と一体となり、一致団結して教育活動に取り組む学校づくりを進めていきます。ご指導よろしくお願ひします。

随 想



地域の力に支えられ

上越市立稲田小学校

米 岡 洋

当校には校区の町内会長を理事とした後援会組織があります。全戸から会費をいただき、子どもたちの教育活動のために有効に活用させていただいています。昨年は中高学年のスキー教室の交通費や、グラウンドに設置している木製遊具の腐食箇所の修繕等に使用させていただきました。地域の方々が子どもたちの健やかな成長のために学校を応援してくださっていることに感謝しています。

先日、今年度の教育活動に関する理事会を開催しました。その中で、今年度の活動予算案について審議していただきました。私が一通り支出項目や主な使途について説明をした後、一人の理事が挙手し質問されました。(一瞬、ドキッとしました…)

その理事は、「項目に『職員研修費』とある。先生方にはどんどん勉強してもらって、その成果を子どもたちに還元してもらいたい。この予算に限らず、土日や遠方での研修会に参加したいと思うやる気のある先生がいたら、ぜひ私たちの会費を積極的に活用してもらいたい」との申し出でした。

地域のみなさんが、子どもだけでなく、私たち教員も全面的に支えていただいていることを改めて実感し、地域の支えに感激した場面でした。



何の話をしますか？

阿賀野市立水原小学校

鈴 木 智 博

突然ですが、「ゼクロム」「レンラム」「ニャース」「チョコネコ」「クマシュン」「クイタラン」「オノノクス」「イワパレス」「エモンガ」。これらを見てパッと思い浮かんだ教頭先生は流石です。実は、これらはポケモンのキャラクター名です。なんと現時点でポケモンキャラクターだけでも809種類あるそうです。その他にも、「東方シンセカイ」「おぼんちゅうさぎ」「マッシュル」など、様々なアニメやキャラクターがあります。

日々子どもと接している学級担任と違って、我々教頭はどうしても子どもたちの興味関心を把握するのが難しくなります。学校では、日々様々なことが起こります。学級集団に馴染めない子、友だちとのトラブルが原因で学級に入れられない子、情緒不安定で泣いて登校してくる子等、様々な困り感をかかえる子どもに対応することがあります。

そんな時、皆さんはどんな話をしますか？初めて顔を合わす子ども、気分が落ち込んでいる子どもの心をつかむためにも、今いる子どもたちの関心事に目を向けることが必要だと感じています。

これからも、いろいろなことに常に関心もちアンテナをはることを大切にしていきたいと思います。

令和6年度 各種大会日程

- 1 全国公立学校教頭会研究大会高知大会 7月31日(木)8月1日(金)
- 2 第60回新潟県小中学校教頭会研究大会
第15回ブロック別研究大会 10月30日(水)
第65回関東甲信越地区教頭会研究大会山梨大会
11月14日(木)15日(金)
- 3 令和6年度 中央研修大会
オンライン開催(各郡市教頭会1名参加) 2月7日(金)
ビデオ自主研修(全員参加) 2月10日(月)～

新潟県小中学校教頭会
[事務局]
県教頭会ホームページ
全国公立教頭会ホームページ

〒950-0911 新潟市中央区笹口2丁目7-17 和田ビル2F
E-mail n-kyotoh@crest.ocn.ne.jp TEL (025) 244-8225
https://www.niigata-kyotokai.jp/ FAX (025) 244-5060
http://www.kyotokai.jp/